

令和7年度愛媛から「体験の風をおこそう」運動推進事業 「体験フェスティバルin交流の家」

1 ねらい

多くの地域住民の参加を得て、地域づくりの一拠点として「国立大洲青少年交流の家」においてフェスティバルを開催する。様々な体験プログラムを通して体験活動の裾野を広げるとともに地域住民の交流を図ることを目的とする。

また、「体験の風をおこそう推進事業」として、子供や保護者を対象に、自然体験や生活体験等に取り組む「子ども体験遊びリンピック」を同時開催する。



2 実施日

令和7年10月18日（土）10時～15時

3 内容

展示コーナー 華道展、人権啓発パネルの展示、ボーイスカウト運動の展示、健康をテーマとした展示、ラジオ体操に関する展示



体験コーナー ビニールプールカヌー、クライミング体験、放水・煙体験、パトカー乗車体験、マイククロシヨベル体験、茶道体験、BMX体験、人KEN まもる犬・しおり・レターケースの作成、ロープワーク、簡易トイレ作り方と凝固剤実験、防災ぬりえ、健康をテーマとした体験、キックボクシング・ミット打ち体験、バードコール・ミニコンパス作り、昔の遊び、モルック・ボッチャ体験、野球体験、ダブルダッチ体験



飲食コーナー 農産物・加工品の販売、軽食・テイクアウト、和菓子の販売、パン・クッキーの販売

子ども体験遊びリンピック（OZU 遊びリンピック） 紙ひこうき飛ばし、さかみちダッシュ！2025



4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

5 参加対象

未就学児～大人まで（※未就学児は保護者の同伴が必要）

6 参加者数

未就学児から大人まで 合計 1,337 名

7 活動内容

屋外・屋内をあわせて多数の体験ブースや展示企画が展開され、来場者には多彩な体験活動が提供された。会場には家族連れを中心に幅広い世代が訪れ、終日活気に満ちた雰囲気に包まれていた。

かんぼラジオ体操広場に設置された大型ビニールプールでは、未就学児や小学生を中心に、スタッフのサポートのもとでカヌーに挑戦する姿が見られた。参加した子供達は、操作に慣れてくると水面を進む楽しさに笑顔を浮かべていた。保護者からは「こうした機会がないと体験できないので、とても貴重だった」との声も寄せられた。その他のブースにおいても、工作やスポーツ体験など、さまざまな活動が実施され、参加者は興味関心に応じて自由に体験を楽しむことができた。いずれのブースでも、参加者が主体的に取り組み、満足した様子が随所に見られた。

本イベントを通じて、参加者は自然、健康、文化、スポーツなど多岐にわたる分野の体験を通じて、新たな発見や学びを得ることができた。また、地域団体や関係機関の協力により、安全面・運営面ともに安定した進行為なされ、参加者の満足度は非常に高かった。さらに、今年度は新たな協力団体の参加もあり、これまでにない体験活動の幅が広がったことは、本事業の大きな成果のひとつである。今後も地域とのつながりを大切にしながら、誰もが気軽に参加でき、学びと交流を深められる場づくりを継続していきたい。

8 参加者の声

事業後アンケートの結果（300 名）

*満足：93% *やや満足：6.7% *やや不満：0% *不満：0.3%（※理由は未記入）

「初めて体験フェスティバルに参加をしたけど思った以上に親子連れが多くてびっくりしました。」
「様々な体験をすることができて良かった。」「来年も是非参加したい。」等の声を聞いた。